

事業所における児童発達支援自己評価表(公表)

公表:平成31年2月1日

事業所名

発達支援センターめばえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点などを踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である。	○		必要に応じて活動室間のパーティションを外して広いスペースを確保しています。	各グループの療育計画立案の段階から、より効率的にスペースを活用できるようにチームで連携した支援を行います。
	②	職員の配置数は適切である。	○		規定に則った職員数が確保されています。	今後も個々の実態把握を十分に行い、安全かつ質の高い支援が行える体制作りに努めてまいります。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている。	○		写真やイラストを使用しての視覚提示や活動によって仕切りを設ける等工夫をしています。施設はバリアフリーです。	個々に最適な環境は異なるため、実態に適した構造化ができるようにその都度最大限の工夫をします。同時に、より制限の無い環境で過ごすことができるようなスモールステップでの発達支援を行います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている。	○		毎日の清掃をチェック表で管理し、使用後の玩具や活動室は殺菌・消毒・消臭を行っています。	快適で心地よい環境を整えるために、定期的な清掃の徹底と活動に合わせた空間の使用を継続します。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している。	○		課題検討会議を中心に、改善目標の設定と進捗状況の確認、評価分析を行っています。	より良い職場環境を整えるために、全職員が当事者意識を持って業務改善にあたります。気付いたことはいつでも話し合える関係性を大切にします。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている。	○		保護者アンケートを実施し、その内容を基に業務改善に繋がっています。	アンケートでいただいたご意見を真摯に受け止め、今後も改善に繋がっていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	○		年に1回以上実施し、公表しています。	今後も定期的に評価を実施し、評価及び改善の内容を公開していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている。	○		定期的に第三者評価を受審し、業務改善に繋がっています。ホームページにて公表しています。	今後も定期的に外部評価を受審し業務改善に繋げ、信頼される事業所作りを目指します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している。	○		計画的に事業所内・法人内研修を実施しています。また、外部研修にも積極的に参加しています。	今後も研修の機会を確保し、意欲と知識の向上を図ることで質の高い支援を行う職員育成を継続してまいります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。	○		個々の特性に応じたアセスメントツールを使用し、子どもさんやご家族のニーズや課題の分析を行っています。	相談支援専門員との連携や子どもさんと保護者のアセスメントを丁寧に行うことで、より良い支援計画の作成と実施に努めて参ります。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している。	○		各種アセスメントツールを準備し、個々に応じて使用しています。	発達検査等のアセスメントツールを使用するだけでなく、結果を評価分析する力や具体的な支援に繋げる力の育成に努めてまいります。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	○		児童発達支援計画は、発達・家族・地域の観点から課題を整理し、具体的な支援の内容を設定しています。	今後も利用児本人実態に即した支援内容になっているかを職員間で検討し、児童発達支援ガイドラインに沿った支援に取り組んでいます。

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている。	○	活動前には支援計画内容を確認し、ケース会議では進捗状況の確認を行っています。	チームで支援の共通認識を図るためのケース会議や日々の打ち合わせ等で振り返りを継続して行って参ります。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている。	○	チームで年間計画の作成と目標の設定をし、日課計画に落とし込んでいます。	今後もチームでの立案を行い、利用児本人の成長へ繋げていきます。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している。	○	グループの特性や職員の意見を踏まえてプログラムを立案しています。	新しい活動や季節の活動を取り入れることで、利用児がそれぞれに新しい発見や楽しみを経験できる環境を整えてまいります。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している。	○	利用児本人の状態に応じて個別活動を集団活動を組み合わせる作成しています。	今後も、状況を的確に把握して個別活動と集団活動を発達段階に応じて行える環境作りを行ってまいります。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している。	○	日課計画に基づき、毎朝職員配置や環境設定、1日の流れ等を職員間で情報共有を行っています。	今後も打ち合わせを十分に行うことを前提に、当日利用児全体の体調面や情緒面を踏まえた臨機応変な対応で支援ができるように努めてまいります。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している。	○	当日活動で良かった点や改善点を話し合う機会を設け、記録を残しています。	振り返りを継続し、職員がそれぞれ気付いたことを報告し合うことでより質の高い支援ができるように努めてまいります。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、計画の検証・改善につなげている。	○	日課計画に利用児1人ひとりの目標を個別に設定し、支援後は反省・改善点を含めた記録をしています。	今後も支援計画に沿って個々の課題への支援を行い、達成状況を具体的に記録するように徹底してまいります。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	○	支援内容の定期的なモニタリングと満足度の確認を行っています。環境の変化等があった際は、必要に応じて随時支援計画の見直しを行っています。	今後もモニタリングを実施し、見直しの必要性を判断してまいります。
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	○	児童発達支援管理責任者、担当者が参加して情報共有を行っています。	利用児本人の状況を把握した児童発達支援管理責任者や担当者が必ず参加し、相談支援専門員との連携綿密に図っていきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	○	並行通所先の幼稚園や保育園との情報交換会や保健センターの親子教室への職員派遣等を行っています。地区連絡会を主催し、地域の保育園や学校との連携強化に努めています。	連絡会への参加や電話連絡等、積極的に行い情報共有に努めていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	○	医療的ケアが必要な方は現在利用されていません。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	○	医療的ケアが必要な方は現在利用されていません。	今後も状況に応じて主治医や協力医療機関との連絡体制を作り、迅速な対応ができる体制づくりに努めます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○	情報提供シートを作成した上で情報交換会を行っています。また、保育所等訪問を介して相互理解に努めています。	今後も的確に利用児本人の様子を伝えることで並行先となる関係施設とより強固な連携を行って参ります。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	○	連絡会や訪問等を通して情報の共有を行い、利用児本人とご家族、移行先となる学校が安心できるように努めています。	移行支援シートや連絡会等に的確に情報提供し、引き続き利用児本人、ご家族、移行先の学校が安心できる環境作りに努めてまいります。

	⑲	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	○	連絡会や訪問等を通して連携を図っています。また、外部講師を招いたり、発達障害者支援センターの研修を受講したりしながら研鑽を重ねています。	職員の知識・技術の向上や保護者支援のために、今後も専門機関と連携していきます。
	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある。	○	ボランティアを招いたり、定期的に保育園児交流する機会を設けています。	今後も交流の機会を積極的に設け、地域がより身近になる経験や学びの場を確保していきます。
	㉑	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している。	○	代表者が協議会や子ども・子育て会議等へ参加し、その内容について職員への周知を行っています。	今後も参加し、職員へ内容の周知を図っていきます。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	○	送迎や連絡帳での情報交換を日々行い、必要に応じて電話や面談を行っています。また、親子療育を利用して、子どもの発達の状況や支援の意味の理解に繋げる機会を設けています。	その日の活動の状況だけでなく、変化や成長など必ずお伝えすることで共通理解を高めていけるように努めてまいります。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている。	○	作業療法士や言語聴覚士による保護者向けの研修会やペアレントプログラム等を実施しています。	今後も継続して研修やペアレントプログラム等を実施することで充実した支援ができるよう取り組んでいきます。
保護者への説明責任等	㉔	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	○	契約の際、運営規定や利用者負担等について、説明を行っています。子どもには施設での生活がわかるイラストを準備しています。	今後も契約時に内容を分かり易く説明し、変更があった場合はその都度文書にてお伝えすることで安心して利用できるように取り組んでいきます。
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている。	○	支援計画を示しながら説明を行い、同意を得て、交付しています。	個別支援計画書において、ガイドラインの把握したうえで作成し、丁寧な説明を行い、同意を得て共通認識のもと支援を行っています。
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	○	個別面談時以外にも随時相談や専門士のカウンセリング等で助言や支援を行っています。連絡帳やバス送迎時の言葉にも気を配り、困り感に気付けるよう努めています。	連絡帳の内容や送迎バス時の会話を大切に、困り感の気づきと把握を行い、必要な助言や支援を行っています。また、面談や電話連絡をご家族の現状に適した方法で対応できるように努めてまいります。
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	○	父母の会の組織はありませんが、語ろう会や茶話会、親子療育、ペアレントプログラム等、保護者が交流できる機会を設けています。	保護者同士の交流を深めることができるよう、今後も交流会を計画していきます。また、参加しやすい時期や内容の検討も行っていきます。
	㉘	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	○	受付担当者や責任者、第三者委員等の体制を整備し、迅速な対応に努めています。相談や申し入れの内容は職員間で共有し、改善に努めています。	マニュアルの周知徹底を行い、相談や申し入れがあった際には、迅速かつ適切に対応していきます。
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	○	法人の会報や施設の月便りを発行し、行事予定や活動内容を発信しています。連絡体制については、事業所内に掲示しています。	今後も、より分かりやすい内容を発信できるように取り組んでいきます。
	㉚	個人情報の取扱いに十分注意している。	○	個人情報管理規定に基づき対応を行っています。個人情報の取扱い内容について説明を行い、同意を得ています。	今後も、個人情報の適切な取扱いについて研修等を通して意識の向上を図っていきます。
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため配慮をしている。	○	臨床心理士・言語聴覚士等の専門職から指導を受け、利用児個々の特性に応じた対応を行っています。	専門職との連携を行い、より良い意思の疎通や伝達方法を検討し、実施していきます。
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	○	研修やイベント、行事等での地域の方々に施設を開放しています。	地域住民との交流を定期的に行えるよう、行事等の計画を行っています。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	○	各マニュアルを整備し、研修を通して職員への周知を図っています。非常時のマニュアルは事業所に掲示しており、来園者がいつでも見られるようにしています。	非常災害時のマニュアルの掲示を行っているが、保護者周知という点においては課題が残るため、今後周知の工夫を図っていきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている。	○	毎月避難訓練を実施し、災害別の非常災害計画を作成しています。不審者対策訓練にも取り組んでいます。	警察や消防からの助言も活かしながら、安全対策に努めていきます。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	○	事前に利用児本人の服薬状況や生育歴等の確認を行っています。	今後も、事前に情報を得ることで利用児本人の体調面へ配慮し、適切に対応していきます。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	○	医師の指示書に基づく対応を行っています。	アレルギーの把握に努め、医師の指示書についても徹底していきます。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している。	○	ヒヤリハット報告書を作成し全職員へ周知を行っています。また、半年ごとに集計し傾向の分析を行っています。	ヒヤリハットの共有・周知はもちろん、原因解明や解決策を職員間で検討し、事故予防に努めていきます。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	○	人権擁護委員会を中心に事業所内で虐待防止に取り組み、事業所内外の研修に積極的に参加しています。	今後も研修会への参加やマニュアルの周知、人権擁護ハンドブックの理解に努め啓発を行っています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	○	現在、身体拘束を行う事例はありませんが、法人として身体拘束マニュアルを作成し、必要時に対応できる体制を整えています。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月8日

事業所名 発達支援センター めばえ

保護者等数(児童数) 53名

回収数29名

割合54.8%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。	25	4	0	0	・体が大きい子が増える日は少々狭い気がします。 ・スペースも十分、巧技台やボール、ロディなどの設備も充実していると思います。 ・もう少し園庭が充実したらと思います。	・子どもさんの実態や人数、活動内容に応じて、グループ内を更にグループに分けたり、活動場所の移動を行ったりしながら、十分に活動できるスペースを確保しています。 ・園庭で行う療育内容や教材については職員間で検討し、充実したものとなるよう努めています。
	② 職員の配置数や専門性は適切でしょうか。	26	3	0	0		
	③ 生活空間は、本人がわかりやすい構造化された環境になっていますか。また、安全面に配慮した環境設定が行われていますか。	28	1	0	0	・顔写真はもちろんのこと、こちらの要望であるシールでのマークにも対応していただきありがたいです。 ・動きが活発な子がまだ小さな子の傍を走り抜けたり、遊んでいる場面でヒヤットすることがあります。	全体で活動を行う際も、子どもさんの実態や人数、活動内容に応じて、環境面を設定しており、さらに職員の見守り配置や役割も確認しています。子どもさん、ご家族に安心して過ごしていただけるよう努めてまいります。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	27	2	0	0	・トイレが、自宅の大きい便座に慣れていて、逆に子ども用の小さい便座に戸惑ってしまったようです。 ・おもちゃやいすなどが常に出てるわけではなく、適宜用意される形なので、子どもも切り替えやすいと感じています。	ご家庭での様子や今までの経験などについて、きちんと伺うことで、子どもさんが戸惑うことの無いよう、支援に努めてまいります。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されていますか。	29	0	0	0		
	⑥ 児童発達支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていますか。	29	0	0	0		
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われていますか。	28	1	0	0		
	⑧ 活動プログラムは子どもの実態に応じた内容になっていますか。	26	2	0	1	・子どもに合わせて対応して下さるので、私も勉強になります。 ・一人ひとりの成長に合わせてしっかりと活動していただきとても助かっています。 ・子どもはブロックあそびばかりで飽きる時があるとっていました。 ・つみき教室、英語教室も活動で取り入れてほしい。	専門士とのカンファレンスを行いながら一人ひとりの成長に合わせ、一日の療育(活動時間・余暇時間)を検討しております。その中で様々な教材に取り組み、想像力を養ったり、ことばの理解へ繋げたりしながら、子どもさんが伸び伸びと成長できるよう努めてまいります。
	⑨ 事業所外の地域の子どもの交流や活動の機会が設けられていますか。	11	10	1	7	保育園との交流をしていることは知っていますが、その他にもそのような場があるのでしょうか。	主に保育園や障害者施設、小学校との交流を行っています。今後も、多くの方と交流の機会を設けられるよう計画いたします。
保護者への 説明	⑩ 事業所の利用開始前に、事業所での生活や支援の内容等について説明がありましたか。	29	0	0	0		
	⑪ 児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0		

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月8日

事業所名 発達支援センター めばえ

保護者等数(児童数) 53名

回収数29名

割合54.8%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
説明等	⑫ 保護者に対して「家族支援プログラム(保護者研修、ペアレント・トレーニング等)が行われていますか。	25	2	0	2	まだ参加したことがありませんが、次回参加させてもらいたいです。	ペアレントプログラムや語ろう会、研修等は今後も実施予定です。開催前には文書の配布やお声掛けさせていただきますので、ぜひご参加ください。
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	28	1	0	0	・連絡帳やバスの送迎の際に子どもの様子を教えていただけるとありがたいです。 ・日々の幼稚園での様子や幼稚園での様子についても話を聞いていただけており、成長について共感していただいたり、相談に乗っていただいたりして、ありがたいです。	今後もご家族の方と一緒に子どもさんの成長を見守り、共通理解に努めて参ります。お困り事や相談、成長を感じられた時など、何でもお声掛けください。
	⑭ 保護者に対して面談や育児に関する助言等の支援が行われていますか。	28	1	0	0	・自宅での様子を伝えた時に、めばえではその行動がみられないと言われ、子育てがいけないのかとつらい気持ちになった。 ・いつも親の相談にも丁寧にご対応いただけてとてもありがたいです。	大変不快な思いをさせてしまい申し訳ありませんでした。早速、職員全員に今回の反省を踏まえた研修を実施いたしました。ご家族の心情に配慮した対応を心がけ、専門性の向上にも努めて参りますので、今後もご家庭でのこと、療育に関するお困りごと等ありましたらぜひお話しください。
	⑮ 家族交流会や、家族向け研修会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか。	24	2	0	3	なかなか参加できていませんが、支援されていると思います。	茶話会や語ろう会、ペアレントプログラム等を行っています。今後も開催いたしますのでぜひご参加ください。
	⑯ 子どもや保護者からの相談や要望について、対応の体制が整備されているとともに、保護者に周知・説明し、相談や要望があった場合、迅速かつ適切に対応していますか。	25	4	0	0		
	⑰ 子どもや保護者との意思の疎通のための配慮がなされていますか。	26	3	0	0	・連絡帳や必要に応じて電話をくださり、助かっています。 ・お帳面も今日の活動内容、様子を細かく記入していただき、すごく有難いです。	今後もご家族と一緒に子どもさんの成長を見守っていきたくと思います。お困り事や相談、成長を感じられた時など、お気軽にご連絡ください。
	⑱ 定期的にお便りやホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	24	1	0	4	自己評価の結果を発信しているのか、知りませんでした。	常盤会便り、めばえたより、ホームページ等で情報を発信しております。
	⑲ 自分の秘密にしたいことを他人に知られないように配慮されていますか。	27	1	0	1		
	非常時等の対応	⑳ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されていますか。	25	1	0	3	通所前に説明していただいた気もしますが、覚えていません。
㉑ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。		27	0	0	2		

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年2月8日

事業所名 発達支援センター めばえ

保護者等数(児童数) 53名

回収数29名 割合54.8%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
満足度	⑳ 子どもは通所を楽しみにしていますか。	27	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・まだできないことも多いようですが、楽しく過ごせるようになったようです。 ・先生方のおかげで、子どもも楽しく安心して過ごせる場所になってきているようです。 ・先生方の温かい対応に親子共々安心して通所できています。 ・楽しく通っています。給食もおいしいと言っています。いつもありがとうございます。 	今後も、子どもさんたちが楽しみを持ちながら通い、成長できるよう、より充実した活動内容や環境設定に努めてまいります。
	㉑ 事業所の支援に満足していますか。	27	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・大変満足しております。これからもよろしくお願ひいたします。 ・子どもの笑顔は増えました。 ・いつもありがとうございます。毎日、どんな表情で帰ってくるのか、どんな話をしてくれるのか、楽しみに帰りを待っているところです。 ・土曜日の通所を月に2回でもよいので、15時降園にしてほしいです。 ・いつもお世話になっております。できることも少しずつ増えてきて嬉しく思います。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。 ・日頃の福祉サービスはとても満足しています。ありがとうございます。 ・給食での対応や長期休暇中の通所日数についても配慮、対応いただけていて助かっています。 ・子どもや保護者に対して、丁寧さがとても感じられます。いつもいつもありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見ありがとうございます。 ・土曜日の通所に関しましては、ご家族と子どもさんのふれあう時間を大切にさせていただき目的で降園時間を設定しております。ご理解をいただければ幸いです。 ・これからもご家族とともに子どもさんの成長や喜びを感じていきたいと思っております。職員一同、精一杯務めさせていただきますのでよろしくお願ひいたします。

○この「保護者からの事業所評価表の集計結果(公表)」は、保護者の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。